



TDCSOFT Report

第58期中間報告

2010年4月1日～2010年9月30日

証券コード: 4687



Your Value Partner

TDCソフトは、豊富な業務ノウハウと最先端の技術で様々な分野の企業活動をサポートしています。
ICTプロフェッショナルとして新規事業の可能性向上や、経営革新・業務革新による収益力向上等、
お客様の企業価値を高めることを目標にサービスを提供しています。

金融分野 (保険・クレジット・金融)

保険

安心を支える技術力で生命保険・損害保険のシステムを総合的にサポート

クレジット

大規模・複雑化するクレジット業務サイクルを総合的にサポート

金融

経験と技術力で銀行、リース等金融関連システム全般に対応

システム基盤

高い技術力で情報・通信システムの基盤・インフラを構築

法人分野 (通信・運輸・製造)

通信

日々進化する高度情報通信ネットワークを確実に支えるICTサービスを提供

運輸

確かな技術力で運輸・物流等の高品質なロジスティクスシステムを提供

製造

電機業から鉄鋼業まで幅広い業種にきめ細かなシステム構築サービスを提供

公共・公益分野 (官公庁・エネルギー)

官公庁

中央官庁、地方自治体の効率的な電子行政システムを総合的にサポート

エネルギー

電気・ガス等の社会インフラを高い信頼性で支えるICTサービスを提供

SI

System Integration

システムインテグレーション

機器の調達 / 設定、システム基盤構築、開発、運用までワンストップで提供します。

BM

Business Mobile

モバイルソリューション

携帯電話を基幹システムのエンタランスに。携帯電話とSaaSを組み合わせ、業務効率向上と新規ビジネスへのチャレンジをサポートします。



MoobizSync 2.0 携帯電話で「Salesforce」のサービスを利用可能にしたソリューション



HANDyTRUST* 携帯電話で報告書を自動生成、ネットで共有するSaaS型サービス



Trustpro 簡単、スピーディー、組み合わせ自由、携帯電話との連携可能なPaaS型クラウドサービス



クラウド導入支援サービス 「Salesforce」、ORACLE CRM ON DEMAND等、クラウドサービスの導入を支援



RIA in X 点在するシステムをあたかも1つのシステムのようにまとめ、統一されたリッチなインターフェイスを提供するソリューション



ajfaria warp 異なるシステムやデータフォーマット間の連携をノンコーディングで「つなぐ」データ連携ソリューション

ES

Enterprise Solution

エンタープライズソリューション

業務コンサルティングやカスタマイズ等で最適なソリューションを提供。経営・業務の効率化や投資効果の追求などの経営革新をサポートします。

PMS

Project Management Service

プロジェクトマネジメントサービス

的確なリスク分析で企画から業者選定、開発、移行まで円滑なプロジェクト運営をサポート、システム構築を成功へ導きます。



システム構築プロジェクトの支援・評価、豊富なノウハウ、知識の提供、調達方法の見直し支援を中心としたコンサルティング、マネジメントサービス



代表取締役会長
橋本文雄

代表取締役社長
谷上俊一

株主の皆様におかれましては、
ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は、当社事業に格別のご理解とご支援を賜り、
厚く御礼申し上げます。
ここに「TDCSOFT Report 第58期中間報告」をお届けいたします。
株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を
賜りますようお願い申し上げます。

2010年12月

業績ハイライト

経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や新興国向け輸出の拡大等により企業業績の一部に改善の動きが見られるものの、アメリカ・欧州を中心とした海外景気の下振れ懸念から、為替相場・株式市場は混乱し、またデフレの影響もあいまって、先行き不透明な状態が継続しております。
情報サービス産業を取り巻く環境は、幅広い業種において2010年度のソフトウェア投資が昨年度に比べて回復する方向にあると考えられているものの、外部発注から内製化へのシフト、製品・サービスの価格低下、案件の小型化など、業況は厳しいものとなりました。

このような環境のもと、当社は、総合受注力強化、製造工程の価格競争力強化、新たな市場・事業の創出に注力し、収益の確保に努めております。

当第2四半期累計期間の業績は、金融分野、法人分野、公共・公益分野がいずれも堅調に推移し、売上高は82億円(前年同期比10.2%増)となり前年同期を上回りました。

利益面では、売上高の増加や稼働率・生産性の向上により、売上総利益が前年同期に比べ増加したことや、販売費及び一般管理費の効率化などコストの低減に取組んだことにより、営業利益は4億円(前年同期比307.5%増)、経常利益は5億円(前年同期比322.9%増)となりました。しかしながら、保有有価証券のうち実質価額が著しく下落したものについて、投資有価証券評価損等1億円を特別損失に計上したことなどから、四半期純利益は1億円(前年同期比194.1%増)となりました。

業種分野別の売上高は次のとおりであります。

金融分野は、金融機関の業務アプリケーションからシステム基盤、ネットワーク関連業務までトータルなサービス提供に努めるとともに、クレジット分野、保険分野に注力したことなどにより、前年同期比3.9%増収の51億円となりました。

法人分野は、受注優先での対応を徹底したことなどにより、運輸関連向けシステム開発等が増加し、前年同期比14.5%増収の23億円となりました。

公共・公益分野は、受注拡大に注力してきたエネルギー関連向けシステム開発の増加等により、前年同期比54.3%増収の7億円となりました。



業種分野別概況



金融分野

(保険・クレジット・金融)

- 金融機関の業務アプリケーションからシステム基盤、ネットワーク関連業務までトータルなサービス提供
- クレジット分野、保険分野に注力

⇒売上高は前年同期を上回り、

51億円となりました

62.3%



法人分野

(通信・運輸・製造)

- 運輸関連向けシステム開発等が増加
- 受注優先での対応を徹底

⇒売上高は前年同期を上回り、

23億円となりました

28.3%



公共・公益分野

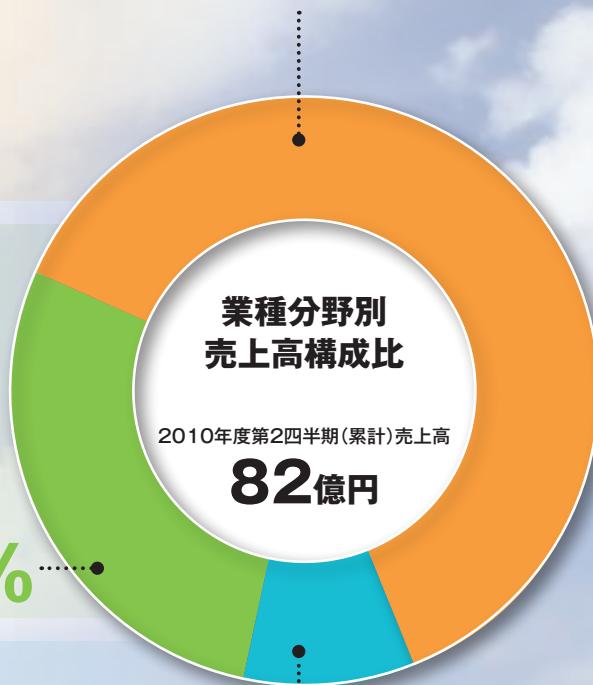
(官公庁・エネルギー)

- 受注拡大に注力してきたエネルギー関連向けシステム開発が増加

⇒売上高は前年同期を上回り、

7億円となりました

9.4%



1 HANDyTRUST、日経BP社「第1回 クラウドランキング」で『ベストサービス賞』を受賞しました

日経BP社(日経コンピュータ及びITpro)の選出による「第1回クラウドランキング」の「特定業種業務向け SaaS 部門」において、HANDyTRUST が『ベストサービス賞』を受賞しました。「クラウドらしさ」と「既存システムからの移行のしやすさ」、「情報公開の程度」などで評価が行われ、HANDyTRUST は、携帯電話でフィールドスタッフが報告書を簡単に作成することができる点、柔軟なカスタマイズ性を有している点が高く評価されました。



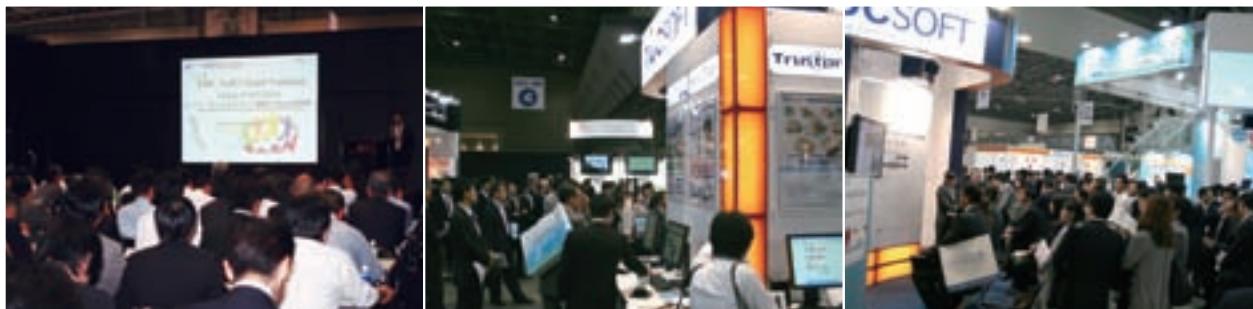
その他 建設、メンテナンス、資産管理など様々なシーンでご利用いただけます。



- 報告書作成は現地で完了、事務所に戻ってからの作業を軽減。
- 瞬時に現地の状況をインターネットで共有化でき、管理側での迅速な対応が可能。
- 報告書印刷もらくらく、撮影画像や入力データのダウンロードもOK。

2 『ITpro EXPO 2010』に出展しました ITpro EXPO 2010

10月18日から20日まで東京ビッグサイトで開催された「ITpro EXPO 2010」に、「MoobizSync 2.0」の新サービス「iPhone Edition」や「HANDyTRUST」などを出展。iPadを活用した保険申込書ソリューションや3Dソリューションなど、クラウドサービス導入ノウハウの実例やデモンストレーションをご紹介しました。またセミナー「モバイルクラウド事例とiPhone活用術～郵便事業(株)様と(株)バイオニアサービス様を迎え～」は会場が満席となり、大変注目を集めました。



3 『MoobizSync 2.0 iPhone Edition』をリリースしました

スマートフォン(iPhone)から「Salesforce」サービスの利用を可能にする、SaaS型モバイルサービス「MoobizSync 2.0 iPhone Edition (Ver.1.01)」をリリース。

3G携帯電話からの利用に限られていた「MoobizSync 2.0」を拡充し、スマートフォン(iPhone)からもCRMサービス「Salesforce」が利用可能になりました。直感的なユーザーインターフェイスとGoogleマップとの連携により利便性を大幅にアップさせました。また、外出先での入力情報と現場写真の関連付けにより、フィールドスタッフの現場業務と報告業務を外出先で完結させ、管理者の的確な状況把握の支援、生産性の向上を実現します。2010年12月には、スマートフォン(iPhone)内に保存したデータを256ビットに暗号化しセキュリティを強化した Ver.1.1 をリリースする予定です。

Salesforce on
iPhone
iPhoneに対応しました!

MoobizSync 2.0
for AppExchange Hybrid

操作性抜群! iPhoneなら従来の3G携帯向けMoobizSync2.0とは一味違います!



salesforce.com
Partner

SaaS



4 『Cloudforce 2010 Japan』に出展しました

10月5日から6日までザ・プリンスパークタワー東京で開催された『Cloudforce 2010 Japan』に、「MoobizSync 2.0」の新サービス「iPhone Edition」を出展しました。大変多くの方にお立ち寄り頂き、サービスの説明をお待ちになる方が出るほどの大盛況となりました。



5 「東京都がん検診推進サポーター企業」に認定されました

東京都では、平成22年度から都民のがん検診受診率向上への取組みが開始され、これに協力し活動をとにする企業を「東京都がん検診推進サポーター企業」として認定しています。当社は社員の健康管理を重要と考えており、その活動のひとつとしてがん検診受診率向上を目指して、東京都に参加申請し、審査の結果、サポーター企業として正式に認定されました。



用語解説



1 クラウド

従来は手元のコンピュータで管理・利用していたソフトウェアやデータを、インターネットなどのネットワークを通じ必要に応じて利用する方式のことです。大企業などが自社ネットワーク上で社員が利用するためのクラウドコンピューティングシステムを構築する場合もあり、これを「プライベートクラウド」と呼びます。また、インターネットから誰でも利用できるようなサービスは「パブリッククラウド」と呼びます。



2 SaaS、PaaS

クラウドにより提供される主なサービスで、SaaS(ソース: Software as a Service)は、ソフトウェアの代わりにアプリケーションをサービスとして提供することです。メールやスケジュール管理などがこれにあたるサービスです。PaaS(パース: Platform as a Service)は、OS(プラットフォーム)の機能をサービスとして提供し、ユーザーが好きなアプリケーションを利用できるようにすることです。



3 CRM

CRM (Customer Relationship Management) は、情報システムを応用して企業が顧客と長期的な関係を築く手法のことです。詳細な顧客データベースを元に、商品の売買から保守サービス、問い合わせやクレームへの対応など、個々の顧客とのすべてのやり取りを一貫して管理することにより実現します。顧客のニーズにきめ細かく対応することで、顧客の利便性と満足度を高め、顧客を常連客として囲い込んで収益率の極大化をはかることを目的としています。



4 スマートフォン

通話機能以外にインターネット利用やスケジュール管理などの機能も併せ持った、多機能な携帯電話のことです。普通の携帯電話でのインターネット利用が一般的な日本では、多くの場合、大きなディスプレイを有したPDA(携帯情報端末)の要素を取り込んだ携帯電話を指してスマートフォンと呼んでいます。



会社概要 (2010年10月1日現在)

会社名 ティーディーシーソフトウェアエンジニアリング株式会社
TDC SOFTWARE ENGINEERING Inc.

創業 1962年(昭和37年)10月16日

上場市場 東京証券取引所 市場第一部(証券コード4687)

事業内容

- ・保険、銀行、クレジット等の金融業、官公庁、法人向けの業務システム開発、ネットワークシステム開発、基盤ソフト開発などのSIソリューションサービス
- ・カメラ付携帯電話ソリューション「HANDyTRUST」、SFA連携ソリューション「MoobizSync 2.0」などクラウドソリューションサービス
- ・ERP・BI・CRM製品を利用したパッケージソリューションサービス
- ・システムの最適化計画実施支援や調達支援などのプロジェクトマネジメントサービス

従業員数 1,205名

資本金 9億7,040万円

事業所 本社 〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目33番6号
TEL 03(3350)8111
FAX 03(3350)8155

大阪営業所 〒541-0044
大阪市中央区伏見町四丁目2番14号
TEL 06(6228)8521
FAX 06(6228)8523

役員

代表取締役会長	橋本 文雄	執行役員	山本 有司
代表取締役社長	谷上 俊二	執行役員	倉田 清二
取締役常務執行役員	岩田 伸	執行役員	小田島吉伸
取締役常務執行役員	青木 富夫	執行役員	土橋 弘敏
取締役執行役員	鈴木 一正	執行役員	北川 和義
取締役執行役員	河合 靖雄	常勤監査役	諏訪 勝之
取締役相談役	藤井 吉文	常勤監査役	野崎 聡
		監査役	秋山 一郎

株式情報 (2010年9月30日現在)

株式の状況

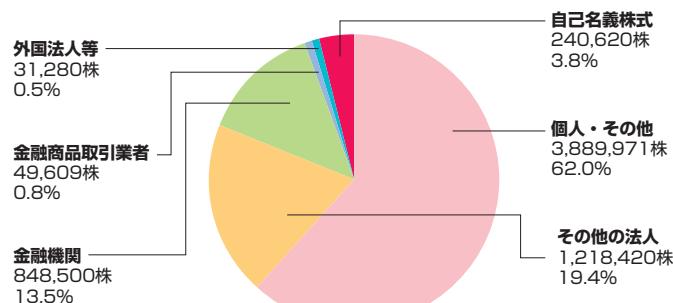
発行可能株式総数 25,000,000株
発行済株式の総数 6,278,400株
株主数 3,078名

大株主

株主名	持株数(株)	持株割合(%)
有限会社野崎事務所	766,000	12.7
TDC社員持株会	532,800	8.8
藤井 吉文	270,500	4.5
野崎 聡	251,300	4.2
株式会社インフォメーション・ディベロプメント	250,000	4.1
株式会社みずほ銀行	192,000	3.2
野崎 哲	142,300	2.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	122,100	2.0
松井 秀夫	110,860	1.8
アジア航測株式会社	100,000	1.7

(注)上記のほか、当社は自己株式240,620株を保有しております。
また、持株割合は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ (株式に関するお手続きについて)

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

上場証券取引所

東京証券取引所

公告の方法

電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.tdc.co.jp/>
やむを得ない事由により、
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目33番6号
03(3350)8111 <http://www.tdc.co.jp/>

※製品名などの固有名詞は各社の登録商標です。